よなごびと

| 第60回 |

刺繍作家

木山 麗（きやま れい） さん

刺繍は私の世界を広げてくれた

木山さんが刺繍を始めたのは24年前。日本刺繍の美しさに魅せられ、隣県の師のもとで基礎を学びました。しかし、ご家族の転勤で生まれ育った米子を一旦離れることになり、その後は独学で制作を継続。そのうちに、技法にはこだわらず、自由で遊び心のある意匠で刺繍を楽しむようになりました。「私のは自己流なので、『和刺繍』と呼んでます」と、はにかみます。

刺繍のモチーフは、江戸時代の町人や浮世絵といった和風のものから、エリザベス女王や銀座和光といったモダンなものまで幅広く、緻密かつ表情豊か、時にユーモラスに表現されます。使用される絹糸は美しい光沢と立体感を刺繍に生み出しますが、1本が髪の毛よりも細く、少しでも針が狂うと全体の歪みに繋がると言い、「一針ごとに『うまくいけ！』と念にも近い願いを込める」と笑います。

14年前から「へちま舎（や）」というブランド名で、がま口などを発表していましたが、転機となったのは2年ほど前。作品を見た人から勧められ、二科展に出品するとデザイン部門で大賞を受賞しました。それ以降、3年連続で同展での入選を果たし、「作品をより多くの人に見てもらいたい」という気持ちが強くなったという木山さん。「刺繍を通じて学んだこと、出会った人、行った場所がたくさんあり、私の世界を広げてくれた。今後も新しいことに挑戦していきたい」と目を輝かせます。

令和3年に二科展のデザイン部フリースタイル部門で大賞を受賞した作品「ピッコロモンド」は、直径2チセンの紋を約170個並べて1枚の額絵に仕上げた作品

インスタグラムで作品を発信しており、今後市内で作品展を開催予定

米子市の人口と世帯数　令和５年９月末日現在（住民基本台帳による）　※（ ）内は前月比

人口 145,251人（－112人）男性 69,296人（－42人）女性 75,955人（－70人）世帯数 68,687世帯（－23世帯）

広報よなご
2023 November vol.224
11
編集発行／米子市秘書広報課　〒683-8686 米子市加茂町一丁目１番地
☎0859－23－5372　kouhou@city.yonago.lg.jp
印刷／今井印刷株式会社
毎月１日発行
UD FONT
今月もお読みいただきありがとうございます。
広報よなごが皆さんのお役に立ちますように。